

令和5年度第2回恵那市環境審議会 会議録

日時：令和5年10月16日（月） 午後1時30分から

場所：市役所会議棟大会議室

1. 開会

2. 会長挨拶

3. 水道環境部長挨拶

4. 議題

(1) 恵那市地球温暖化対策実行計画【区域施策編】について

(2) 恵那市カーボン・オフセットロゴマークの選定について

(3) ペットボトルの水平リサイクルの取組について

5. その他

6. 閉会

7. 会議の公開・非公開・・・公開

8. 出席者の数・・・12人中11人（以下のとおり）

	氏名	選出団体等	備考	出欠
1	福井 弘道	中部大学	会長	出席
2	柘植 清成	恵那市環境対策協議会	副会長	出席
3	保母 鎖利	地域自治区会長会議		出席
4	吉田 純一	市民エコ会議		出席
5	坪井 弥栄子	恵那市子ども・子育て会議		出席
6	後藤 琢磨	恵那市校長研修会		出席
7	鈴木 雅博	恵那市農業振興協議会		出席
8	小椋 正明	えなの森林づくり推進委員会		出席
9	加藤 規久	恵那商工会議所		出席
10	加藤 博靖	恵那市恵南商工会		欠席
11	曾山 信雄	環境省中部地方環境事務所		出席
12	野原 勝樹	岐阜県恵那県事務所		出席

9. 傍聴者の数・・・0人

1. 開 会

■事務局（進行） 定刻より前ですが、開会いたします。

ただいまより令和5年度第2回恵那市環境審議会を開会します。環境基本条例第15条の「審議会は環境行政に関する重要事項について必要があると認めるときは市長その他関係機関に助言及び勧告ができる」という規定に基づき、助言をお願いさせていただきますので、よろしく願いいたします。また、本日は11名の委員が出席、1名が欠席で、審議会の開催が成立したことを報告します。この会議は公開とし、資料と議事録をウェブサイトに公開させていただきます。また名簿も同じ扱いとします。

本日初めて出席の委員、恵那市子ども・子育て会議選出の坪井様から自己紹介を頂きます。

[坪井委員 挨拶]

2. 会長挨拶

■事務局（進行） はじめに、福井会長が御挨拶を申し上げます。

[会長 挨拶]

3. 水道環境部長挨拶

■事務局（進行） 次に、水道環境部長が御挨拶を申し上げます。

[水道環境部長 挨拶]

4. 議題

(1) 恵那市地球温暖化対策実行計画【区域施策編】について

■事務局（進行） それでは議事の方に移りたいと思います。環境基本条例第19条第1項により会長が議長として議事進行をお願いします。

[事務局から資料1に基づき説明]

■議長（会長） 事務局より、説明いただきましたが皆さんより、御意見や質問はございませんか。

■委員 2. 恵那市の現状の CO2 排出量削減のところで、特定事業所に注目しているようですが、農林水産業と業務その他部門の減少が大きいのは、産業としてしぼんでいるからですか。 恵那市として農林水産業は続けていくし拡大しないといけないと思っているところが、事業がしぼんでいるから減っていて大丈夫というのは違う。ここの分析はもっとしっかりすべき。市としてどんな産業をどう強くしていくのか、サービス業が減れば業務その他部門は当然下がるがそれでいいのか悪いのか、ちょっとわかりにくい。特定事業所や中小事業所に注目されるのもあると思うが、そこは商工会議所との話になると思うので、どうかなと思ってみました。

4. 排出削減のシナリオ（2）製造業で、省エネ法の前年度比 1%削減+追加 1%の追加 1%って相当きついと思う。「省エネ診断をしてもらって尚且つエネルギー転換をかける」と、このくらい変わります」とかいったようなサポートがあれば、企業さんももう 1%上乘せといったことも考えるかなと思います。特定事業所も 16 しかないので、総務省の専門家派遣事業をつかってアドバイスしてもらったり、セミナーをしたり、商工会議所さんと何かするみたいなことを仕掛けた方が取組ネットワーク形成しますと言っているより企業のやる気が出てくれる。あと恵那市が本気だなと思ってくれると思う。

4（4）の自動車の充電インフラの整備。これは、民間 10 件つけるのか。公共 10 件につけるのか。

■事務局 家庭に 10 件です。

■委員 充電インフラの整備も、公共から付けるのが一番手っ取り早い。だから公共では意味がないということもあるだろうが、環境省からも太陽光と一緒に充電設備を付ける補助が出ているので、そういうことを考えてもらうといいと思います。

森林吸収の間伐について、森林組合と話すと、製材で出すのも間伐材を出すのも作業手間は同じで、売れない材を出すのは補助金をもらわないとやれないと言われる。間伐材をどう使うかも一緒に計画に入れてほしい。2030 年に間に合わないにしても、2030 年までどのような計画を作っていくかを書いてもらえるといいかなと思います。中小水力も風力も建てるのに 10 年近くかかる。今からやらないと 2040 年にも間に合わない。今の段階である程度調査する、検討すると言えば、国の各種補助金や事業者 PR]することができる。

「促進事業として今後そういうことも検討する」ということを出すだけで、事業者は調べたり相談に来たりする。PR されてはどうかと思います。

数字が書いてある割にはスケジュール感がない。計画から事業スタートまで年が決まっ

てないと 2050 年を超えらると思う。小水力は地域の利権もあるし、漁業組合もあつて揉めるのですごく時間がかかる。どこを調査してどこと集中的にやめていくのか、何キロワット取れるのかというのを今から考えて次の計画までに作てほしい。

「具体的な取組」の地域資源回収拠点では、「ごみ減量、資源と資金の市内循環」とあるが、資金が見える形になつてきていますでしょうか。どれくらい集まりどれくらいのお金になり何に使われるかが見えると住民も使いやすいし子供にも教えやすい。鳥羽市の宿泊施設では、食堂で使った紙コップが集められてトイレトペーパーになるということがわかるようになってる。中学校 8 校あつて環境教育をやっているところが 2 校しかないというのもこういうのと組み合わせてやていただけるともう少し発展するのでは。ある中学 2 年生の子は、企業の新商品のプレゼンのパワポを作て会社に提出できるくらい経済のことがよく分かつてる。いまの子供たちは数字が得意、発表できるように数字をきちんと見せること。（リサイクルなど）ループしてないのだったら、ここがループしてないというところで、その課題を一緒に考えていってもらえたらなと思います。

■事務局 排出量減少について、農林水産業、業務その他の部門は、事業の縮小のせいだと思えますが、もう少し分析します。恵那市は農業も大事にしているというところで、事業縮小して、数字が下がるのが良いのかなど考えていきます。

特定事業所の+1%について、省エネ診断等の紹介などをSDGs推進協議会、省エネ取組ネットワークで位置付けている枠組みの中で紹介したりセミナーを開いたりして、少しでも近づけていくようにしていきます。

■事務局 スケジュール感について、各年に目標数値があるが、いつまでに何をするかでしっかりやていきたい。

■事務局 地域資源回収拠点では、現在集団資源回収、PTAや地域がやるという形で、地域の資源を地域の中の製紙業者が携わて集め、地域に返していくという意味での地域循環をしている。ただ、集めた紙がトイレトペーパーになて戻てくるというところまでは行けてないので考えていきたい。

■委員 地域資源の回収拠点について。恵那市の資源回収は物に替えるのではなく、予算が付かない部活動の予算に活用されている。その費用を保護者が出しているところもあつて、そういったところに分配している。そういった意味で地域の資源回収は大事な資源と思つている。どこの学校も何かに変えて戻てくるところまでいかないと思う。

■委員 排出削減のシナリオの部分。2030 年現状推移というのは何か。

■事務局 新たに CO2 を減らす取組をしなかった場合の数字になります。

■委員 (6)以降に数字が書いてないのは、表しにくいからか。

■事務局 (5)自動車（貨物）までは CO2 を排出しているものなので削減量などを記載している。（6）からは吸収するものなどになる。ここでは削減に着目していたため、（6）か

らは記載していません。

■委員 (6) 以降はこういうことで吸収されるということか。

■事務局 そうだ。減ることには変わらないが、出しているものを減らすのではなく、木の成長でCO2を吸収するのでその分を引くということになります。

■委員 そうすると、数字が分かっているものとかこういったものやっていく事によって、減らせるものがあることでトータルの数字は下げているのですよね。その辺が分からずに目標が立てられるのか。

■事務局 本日の資料にはないが、以前配った区域施策編という 100 ページぐらいの冊子の 45 から 50 ページに、削減目標値を記載している。森林吸収では、2030 年で 7 万 2 千トン CO2 を吸収させる計画です。

■委員 10 ページですね。

■事務局 そうです。

■委員 それなら吸収、削減の数字はここに書けるわけか。

■事務局 はい。

■委員 事業者のことで。省エネ取組ネットワーク、2030 年に市内企業 100%ということなので情報展開していきたい。スケジュール感がある程度付けてほしい。業種にもよるが、取引先やカーボンニュートラル等も言われているので、業種によってはすでに取り組んでいる。事例がかなり展開されている。2030 年というのはやや遅い。もっとタイトでもいい。

具体的な取組がいくつかありましたが、いつもこういう会議などに出ると紙資料をわざわざ郵送でいただきまして、今日も市役所の職員も紙で見ている。ペーパーレスの観点が行政の仕事でどの程度進んでいるのか。

■事務局 市議会はペーパーレスで、タブレットを使っている。個別のこういう審議会などは、各会議で承認いただければペーパーレスのところもある。環境審議会でも昨年提案したが賛同いただけなかった。もし次回から賛同いただければそのようにしたい。

■議長（会長） ペーパーレス化について、皆さん、いかがか。

■事務局 事前に送付ができなくなるので、当日タブレットで用意してそこで見ていただくことになるし、自分で iPad を持っている人には事前にデータを送って見ていただき当日持ってきてもらう。ただ、市全体としてもペーパーレス化を進める話はある。段階的にはそうなる。

■議長（会長） 次回は事務局の方で検討してほしい。

■議長（会長） 他に質問はないようですので、続いて、議題（2）恵那市地球温暖化対策実行計画【区域施策編】の進行管理について事務局より説明をお願いします。

（2）恵那市カーボン・オフセットロゴマークの選定について

[事務局から資料2に基づき説明]

■委員 J-クレジットを使って恵那市として出すのはどういう商品を想定しているか。

■事務局 岩村醸造がこの事業に参画しており、まずはそのお酒のいずれかが商品となります。

■委員 商品とマークが全然合わないものだったら…と個人的に思ったので。

■事務局 菓子や、現在すでにふるさと納税に出品している人が賛同すれば、そういうものが商品になることもある。新たに出品したい人があればそうなる。食べものやいろいろなものが想定される。

■委員 市内の事業者はJ-クレジットに対してお金を払って買うのか。

■事務局 購入していただきます。

■委員 金額は。

■事務局 クレジットの金額は書いてないが、相場では、太陽光発電の関係で削減できるのが1トン当たり3000円ぐらいだと見えています。

■委員 岩村醸造が酒を造る過程で出るCO₂の、その商品にかかったCO₂に対して払うのか。事業者の出しているCO₂全部か。

■事務局 商品を造るためにかかった分を購入していただきます。

■委員 その計算は誰がするのか。

■事務局 CO₂排出量は、岩村醸造と我々の実証メンバーでやる。量は電気代、ガス代から算出する。按分して算出します。

マークはホームページ、チラシ等で商品の横に付ける。オフセット商品をふるさと納税で送るときは、リーフレットで「カーボンオフセット商品で、何トン削減」ということを表示する。

■委員 脱炭素・経済循環システムの概略図のお金の流れの部分、事業者から市に対してのお金の流れが書いてないが、書かなくていいのか。

■事務局 この図を作った段階では実証でしたので、クレジットを購入していただくかどうか未定だったので書いてない。今は買っていただこうと考えています。

■議長（会長） マークの選定をする。挙手によるが、良いか。

[発言する者なし]

■議長（会長） 挙手によって決定する。

[第1案から順に、挙手する者あり]

■議長（会長） 第1案、5名。第2案、1人。第3案、2人。第4案、3人。

第1案で決定します。

色について。緑、8人。過半数なので緑に決定します。

(3) ペットボトルの水平リサイクルの取組について

[事務局から資料3に基づき説明]

■委員 こちらの取組はゼロカーボンに入れられないのか。せっかく一生懸命やっているのに…関係ないみたいでもったいない。

■事務局 ゼロカーボンという意味で、水平リサイクルになるとCO2削減量が60%というのがあるのでどこかで盛り込みたい。

■事務局 恵那市の区域施策編の中で恵那市のCO2を減らすというところで、今回のこのペットボトルの取組は、恵那市という狭い区域だと接点の持たせ方が難しい。日本全体で考えるとゼロカーボンだが…。例えば恵那市内にペットボトル再生工場があれば、その工場のCO2削減量が減って、恵那市のCO2が減ったということが言えるが、恵那市のペットボトルが市外に行ってその工場でのこととなると、恵那市の区域施策編の中に入れることは難しい。ただ日本全体でCO2削減にはなるので、どうやってこの辺りをPRしていくかになります。

■委員 メリットがあるということですね？少し単価がよくなるんではたっけ？あと年間にサントリーがどれだけ集めたという数字は出るのですね？

■事務局 はい。今は容器包装リサイクル協会というところにペットボトルを売却している。これからはサントリーに売却することになり、何トン恵那市から排出されたかは把握できます。

■委員 これだけ計画して、これがあてはまらないのはもったいない気がした。

■委員 恵那市の区域施策編が書かれているときに、ペットボトルの数字を元々入れなかったのではないかと。集めた部分に対するCO2排出量を出してない。集めて持って行っても、回収のための移動が変わっていれば別だが、変わってないと思うので減らないだろう。元々計算に入っていないので減らない。せっかくなので、子どもたちに数字で見せられるように、まとめて数字で分かるようにして上げてほしい。

■議長（会長） 数字にして環境教育に生かしていただきたいと思います。

他に質問などはありませんか。無いようですので、議事を終了します。全ての議題が終了しましたので、事務局へお返しします。

8. 閉会

■事務局（進行） これで審議会を終了します。本日の意見は何らかの形で返したい。次回審議会を開くかどうかは、こちらで用意できる回答を鑑みて検討いたします。

■事務局（進行） 本日は、ありがとうございました。これにて令和5年度第2回環境審議会を終了します。気を付けて、お帰りください。

[閉 会]